

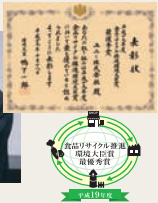
- ユースストアと合併 (8月21日)
- 総合小売業で唯一「エコ・ファースト企業」に認定される



- バイオマスプラスチック製容器を回収してリサイクルを開始



- 食品リサイクルループが評価され「第1回環境省食品リサイクル推進環境大臣賞 最優秀賞」を受賞
新しい食品リサイクルループとして愛知県尾張エリアで「DIDバイオマスリサイクルシステム」が稼働



- レジ袋無料配布中止店舗の地域が愛知、岐阜、三重、富山、山梨、静岡に徐々に拡大
- 旧ユースストアも含むユニー全店舗に廃棄物計量システムを導入、着実に総廃棄物量とコストを削減



- 環境配慮商品PB「eco!on」の審査を第三者審査委員会が実施、認定された商品を販売



- 岐阜県大垣市のアクアウォーク大垣のオープンに際して、大垣市環境市民会議と協働で敷地内の緑地に植林し「レジ袋 市民の森」と命名

- 環境省中部環境パートナーシップオフィスと共催で「インタープリター養成講座」を開設
- 国連世界食糧計画 (WFP) に協賛して、子どもを対象にした「給食プログラム」に参加



- エコ博の前身「家族の食卓」セミナーをアクアウォーク大垣で開催（「地球に優しい、体に優しい食卓 エコライフ」をテーマに登山家野口健さんのトークショーなど）



2008

2009

2010

- 生物多様性条約締約国会議 (COP10開催1年前)
- ユニーは持続可能な社会構築を目指す
- 「エコ・ファーストの約束」の第1号から6号までの企業の1年経過後の報告会を開催。エコ・ファースト推進協議会が設立、ユニーは幹事企業として貢献



- レジ袋無料配布中止店舗が中部地方を中心に166店舗、辞退率30%を超える
- 食品リサイクル率が30%を超え順調に推進。国連地域開発センターの研修で途上国の行政官が「リサイクルループ」を見学
- 経済産業省カーボンフットプリント試行事業に参加、環境配慮商品eco!onトイレットペーパー、さらら (鶏卵) を試算



- CPO10開催1年前イベントに佐々木会長が出演、参加事業として生物多様性を大切にして栽培された「サステナブルコーヒー」を紹介



- けやきウォーク前橋、アピタ長津田店で「エコ博」を開催、登山家野口健さんのトークショー、WFP協会のチャリティーオークション
- 名古屋市のアピタ千代田橋店が「エコ事業所優秀賞」を受賞
- ISO14001の審査登録機関を日本環境認証機構に移転し更新を完了
- 有料レジ袋の売上げの一部を地域環境活動に寄付 (50市町96店舗/7,441,807円)
- ファッションを学ぶ学生を対象に「リデザイン プロジェクト (再生利用商品)」コンテストを開催、入賞作品を授産施設で生産、アピタで販売
- 国連世界食糧計画 (WFP) に協賛して「給食プロジェクト」に従業員の「ワンコイン募金」を開始

- 生物多様性条約第10回締約国会議 (COP10) 開催
ユニーのテーマ「テーブルの上の生物多様性」
- COP10の生物多様性交流フェアに「テーブルの上の生物多様性」をテーマに参加



- 店舗でCOP10協賛イベントを開催、サステナブルコーヒー協会の川島彰良会長、名古屋市立大学の香坂玲先生のトークショーや日本モンキーセンターの「キッズズー」、珈琲工房ひぐちの協賛でコーヒーの試飲など

